

修士1回生の松下ゆかりさんが、土木学会平成22年度全国大会で 優秀講演賞を受賞

平成22年9月1～3日に北海道大学で開催された、土木学会平成22年度全国大会第65回年次学術講演会において、本学科修士1回生の松下ゆかりさんが、優秀発表賞を受賞しました。コンクリート構造物のひび割れ補修に関する研究の内容が評価され、今回の受賞となりました。

受賞報告：松下ゆかり（大学院理工学研究科修士1回生）

今回、土木学会全国大会で優秀発表賞を受賞しました。講演題目は、「バイオグラウトのひび割れ補修に対する可能性への検討」です。本研究では、ウレアーゼの尿素加水分解によるバイオグラウトのひび割れ補修への適用性を検討しました。実験の初期段階では、バイオグラウトを砂に注入することにより、砂の固化および強度発現が確認できました。その後コンクリートひび割れへの適用性を検証し、本グラウトの有用性を確認しました。

私が、このような賞を頂けたのも、多くの先生方のご指導、また同研究者の学生の協力があったからこそだと思い大変感謝しております。今回の研究では、グラウトの開発ということもあり、前例がなく苦労した点もありますが、アイデアを出すことによりグラウトが改良していったので、楽しみながら研究することが出来ました。この経験を糧に今後も日々研究に励みたいと思っています。

